

事業名称			
事業名	社会資本整備総合交付金(広域連携)		
整理番号	24-5		
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備		
市町村名	上田市		
箇所名	上田市 柳沢		
事業年度	平成22年度～平成27年度		
事業概要			
目的	道路整備による地域間連携交流の強化、また観光道路として別所温泉、無言館、前山寺等を結ぶ。		
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 延長L=1.4km 道路幅員W=7.5m 車道幅員W=6.5m		
関連する事業計画	特になし		
その他特記事項	特になし		
関係法令等の規制			
自然環境保全地域等の指定状況	なし		
土地利用規制の状況	農地法の農地または採草放牧地		
その他	なし		
環境要素			
	環境配慮の方針		
大気環境	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。 交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。 土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。		
水環境	沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		
地形・地質	工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。		
野生動植物	自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。 回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。 表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。		
景観	工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。		
自然とのふれあい	不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。		
文化財等	原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。		
廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。		
日照障害・電波障害・光害	照明の設置にあたっては照明の範囲、時間、照度、光源種類などに配慮し、周辺的生活環境や野生動植物、農作物等への悪影響を低減する。		
番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	計画地を含む地域には、県版レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類に該当するホンシュウハイイロマルハナバチが生息する可能性がありますので、工事にあたっては留意してください。	・上田市と連携し、生息、生育環境の保全対策に努めます。
2	廃棄物・建設残土	資源の有効利用に努めてください。	・他箇所の工事の残土利用や再生資材の利用に努めます。